

交通事故防止のPOINT

R7-⑤



自転車の交通事故防止～高校生と高齢者の自転車事故～

5月1日から31日は「自転車月間」です。そこで今回は、事故が多発する高校生と、死亡事故が多発する高齢者の自転車事故の状況をお知らせします。

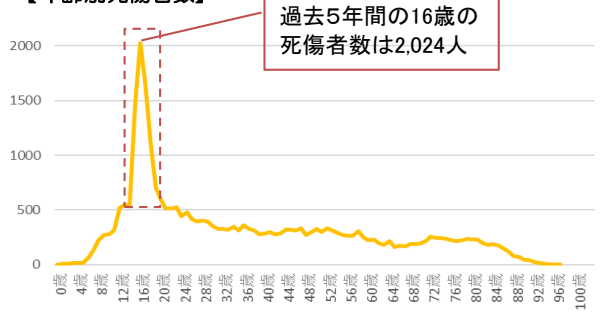
※各表は、過去5年間（R2～R6）に県内で発生した人身交通事故を分析した結果です。

※「自転車月間」は自転車活用推進法により定められています。

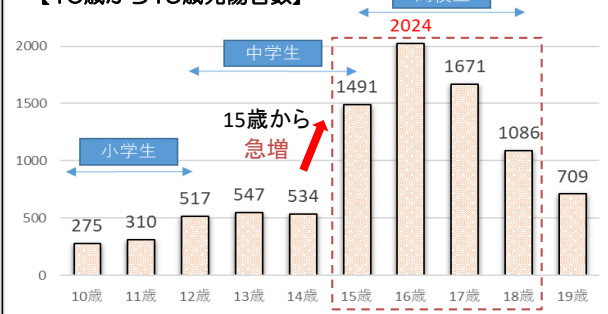
死傷者

年齢別では16歳が最も多く、15歳から18歳の事故が多発！！

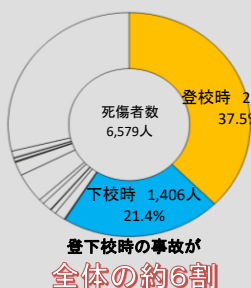
【年齢別死傷者数】



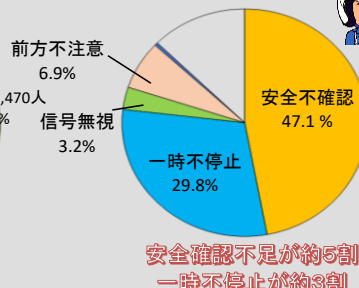
【10歳から19歳死傷者数】



【事故時の通行目的】
（15歳～18歳）



【自転車が原因となる事故の法令違反】
（15歳～18歳）



高校生の自転車事故が多発しています。

高校生・保護者の方

高校生は多くの学生が通学時に自転車を利用します。交通事故を起こさない、交通事故に遭わないために

- 見通しの悪い交差点では減速して安全確認する。
- 一時停止の標識がある場所では必ず止まる。
- 信号を守る。
- 自転車乗車中に携帯電話を使用しない。
- 時間に余裕を持った行動をとる。

等を実践するとともに、交通ルールを守りましょう。
また、交通事故時の被害軽減のために「ヘルメット」を着用しましょう。

死者

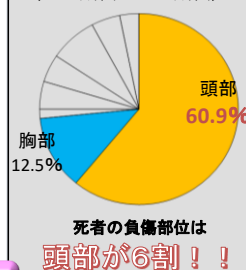
70歳代から80歳代が突出して多い！！

【年代別 死者数と負傷者数】

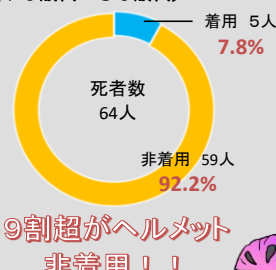


高齢者の場合は、死亡事故に発展する危険性が高まります。

【死者の負傷部位】
（70歳代・80歳代）



【ヘルメット着用率】
（70歳代・80歳代）



高齢者の方へ

- 過去5年間の自転車事故のうち、高齢者の死者数が突出して多くなっています。
- 高齢者の死者のうち、9割超の方がヘルメットを着用していませんでした。
- 自転車事故は、頭部に致命傷を受ける確率が高いことから「ヘルメット」を着用し自分自身の命を守りましょう。

ドライバーの方へ

- 運転中に、自転車が突然飛び出してくるかもしれません。危険を予測した「かもしれない運転」をお願いします。
- 高齢者の方は、自動車の接近に気が付いていない場合があります。あらかじめ速度を落とし安全な距離を確保する等、思いやりのある運転をお願いします。